

ベトナム工業団地開発に加速

2025 年 4 月 8 日 作成

カテゴリー ベトナム経済 外国直接投資 (FDI)

ベトナム工業団地開発に加速

ベトナム政府の方針に基づき、副首相グエン・チ・ズンはクアンニン省に位置する北ティエンフォン工業団地 (KCN) および南ティエンフォン KCN を視察した。北ティエンフォン KCN はベトナム企業 Hateco と DEEP C が共同開発するもので、総面積は約 1,200 ヘクタール。うち 480 ヘクタールの用地が解放され、約 413 ヘクタールが清掃済用地として投資家に引き渡された。

現在、199 ヘクタールが再賃貸され、充足率は 61.94%に達している。インフラ面では、内部道路 8.3km や排水処理施設、変電所などが整備され、2025 年第 1 四半期には 110kVA 変電所が稼働予定である。

北ティエンフォン KCN にはこれまでに 26 の外国直接投資 (FDI) 案件と 5 件のベトナム国内プロジェクトが集まり、総額 13 億ドル以上の投資が行われている。一方、南ティエンフォン KCN も 368 ヘクタール以上の用地解放を完了し、既に 1 件の FDI 案件が進行中である。

ベトナム政府とクアンニン省は、民間経済の推進を重視し、用地解放の迅速化、投資家支援、環境保護、産業団地内での労働者向け施設整備を強化している。副首相は、今後の工業団地の開発ではクリーン技術と高付加価値産業の導入、環境への配慮、人材の定住促進が重要であると強調した。

以上